

「変わることをのまない喜びの泉」

～喜びの力ですべてを成し遂げる～

ヨハネ15：9～16

春がやってきました。花粉が飛び始めています。春は嬉しい季節でしたが、最近はずいぶんまで、この花粉症が見られ、悩まされるようになってきました。スギ花粉などのアレルギー物質、本来人間にとって害ではないのに、害になってしまうようになりました。身体が害だと思っているものに適用できなくなっているのです。本来私たちが戦わなければならない相手と戦わずに、戦わなくてよいものと戦っている。これは、身体の異変だけではなくて、人間の生きる姿にもみられます。自分が戦ってはならない相手と戦って、争ってめてしまう。戦わなくてよい相手と戦っているの、本来戦うべき相手と戦っていないのです。聖書には”この戦いは血肉を相手にするものではなく、主権、力、この暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです。”(エペソ6：12)とあります。しかし、争いが、家族や、愛を育むべき教会の中に起こってしまいます。ですから、もう一度、私たちが本当に目を向けなければならないものは何なのか考えなければなりません。

神様は今教会に昔とは違う働きをしようとしています。それは、皆さん一人ひとりの喜んでる姿が、直接、隣人に伝わっていく。これが終わりの時代の神様を伝える方法です。あなたを通して神様は何かをしようとしています。あなたから、あなたの人生から、そして教会から喜びがなくなったらいけないのです。その喜びの動機は何なのか。それは罪と咎をゆるさず、神の子とされた比べるものはないくらいの喜びからなのです。この一週間、忙しさ、問題によって心を騒がし、喜びがなくなってませんか。もしそこに失望があったのなら喜びの基が違うのかも知れません。条件付き喜びなのです。～がうまくいったら嬉しい。あの人がこう接してくれたら嬉しい。状況が～だったら嬉しい。今喜んでるなら、喜びが続くためには何か必要ですか。しかし、これは、違います。喜びというのはどんな時でも喜びということです。聖書にある、いちじくのたとえを見てください。実のならない時期に実がなつてなかったのですが、イエス様はそのいちじくに一生、実がならないようにと言われます。厳しいようですが、イエス様は喜ばないで生きる人生の厳しさを伝えています。私たちの人生で喜びを見出す事が出来るかできないかは、その状況ではなくその人自身です。(ヨハネ4：13～16) イエス様は、”私が与える水を飲む者はだれでも、決して渇くことはありません”と言ひ、(ヨハネ15：11)では”私がこれらのことをあなた方に話したのはわたしの喜びがあなたのうちにあり、あなたあなた方の喜びが満たされるためです。ではこれらとは何なのですか。”ヨハネ15：9父が私を愛されたように私もあなたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。もし、あなたが私の戒めを守るなら、あなたがたは私の戒めを守って、私の父の愛の中にとどまっているのと同じです。神様との愛の関係が重要なのです。愛されていると感じる時、喜びがあります。だから、たくさんの人から愛されたいと願います。しかし、人に求めても満たされることはありません。失望だけです。条件付き喜びを求めて生きてきた証拠です。互いに愛し合うことは大切です。そのために努力をしなければなりません。しかし、完全に満たしあうことは出来ません。なぜなら私たちは不完全だからです。世の中はだからあきらめると言います。しかし、神様は、そんな不完全な私たちにあきらめないで、信じなさいと言います。なぜなら、その思いを成し遂げたイエス様がいるからです。私たちが見るべきはイエス様の決して変わらない愛です。私たちが依存すべきはキリストに依存した喜びです。このキリスト依存の喜びがあれば問題が起こっても大丈夫です。

世界的に有名なU2というロックバンドがあります。彼らのうちのリーダーがクリスチャンです。彼らは、アフリカにボランティアに行きました。そこで、手を洗うこと、野菜を食べることを教えました。しかし、1か月の滞在の後、彼らはアフリカの子供たちを救ってくれない神様への不満を祈り始めたのです。そんな時神様は「私はあなたをとおして彼らに愛を流そうと思っている」と答えられました。そこで彼らは、自分たちが正義を振りかざし神をも冒瀆していたことに気づかされました。そして、アフリカの人々に愛を流すために、15兆4千億ドルの資金を集め、新鮮な野菜を作って食事を提供する施設を作ろうとしているそうです。クリスチャンが怒っているうちには何もできません。しかし、愛に代わった瞬間彼らは喜びを持ったのです。そして、神様は大きな奇跡を起こされました。しかし、彼らはたくさんの事に目に向いていた一人の人に

向けていくところから奇跡が始まったのです。一人ひとりに愛を流すことに。一人の人に打ち合うことで、変わるのです。そして彼らにイエス様を伝えたのは普通のクリスチャンでした。小さなことに忠実である人は大きいことにも忠実であると書かれています。小さいことに忠実であるためにどうすればよいか。それは、どんな状況でも喜ぶことです。イエス様はそれを貫きました。十字架の上でも喜びを見出しました。クリスチャンはどんな状況でも喜べます。イエス様が変えてくださいます。

① 勇敢な喜び

どんな時も喜びを見出そうとすることです。サマリヤの女は人前に出ようとしませんでした。人と出会いたくありませんでした。イエス様と会い、水をくみ出そうと勇敢に求めました。しかし、根本の問題の解決はしていませんでした。だから、勇敢にイエス様に話しました。涙みにこなくていいようにしてくださいと求めました。そして、イエス様は根本の問題の解決をされました。神様はあなた一代のために家族を与えているのではありません。あなたの根本に喜びを与えたいのです。だから、目の前に置かれている状況が一時苦しくても、あなたが、その根本に向き合うために神様はその苦しい状況をゆるされます。一時苦しんでも永遠に喜んでるほうがいいからです。なかなか喜びを見出せないとき長く苦しむことになります。だから、選んでほしいのです。ぜひ、あなたの置かれた場所で喜びを見出してください。(ヤコブ1：2～4) みなさんの人生で失望も絶望もありません。神様が行うようにと言われることは無駄に思われることが多いのです。なぜ、こんなことを、なぜこの人と、いつまで?なぜ?と思います。しかし、神様は死に至るまで忠実であれと言われていました。喜びを見出すことはあなたのすることです。そこで喜びを見出せばあのサマリヤの女が変わったようにあなたも変わり、あなたの街が、世界が変わります。

② 伝染する喜び

今インフルエンザが流行っています。私たちは体の健康に注意が必要です。それと同時に私たちは人になにを伝染させているか考えなければなりません。ウイルスは悪い影響だけではありません。悪い菌は免疫が攻撃してくれます。良い菌もあるのです。良い菌はふやしていきます。あなたは、良い菌として、喜びを伝染させていますか。あなたの置かれた場所で喜びの歌が流れていますか。

③ 信仰と希望と愛は喜びのうちに現れる

絶えず喜ぶことを決断しないと信じる事ができません。喜ぶことができないと愛することができません。希望は喜びが原動力で起こるのです。ガソリンや、酸素のようなものです。だから聖書の中では喜びなさい。もう一度言います喜びなさい。絶えず喜びなさい。と言っているのです。(ゼバニヤ：14) ”シオンの娘よ。喜び歌え。イスラエルよ。喜び叫べ。エルサレムの娘よ。心の底から、喜び勝ち誇れ。主はあなたへの宣告を取り除き、あなたの敵を追い払われた。”～ 過去にあったマイナスな出来事や、語られてきた現実を取り除かれたから喜びなさいと書かれています。その取り除かれたのはイエスキリストです。イエス様につながったらあなたは喜んでいられます。苦しいことが起きたときイエス様に聞いてください。あなたは私を愛してくれますか?と。するとイエス様は「愛しているよ。」と答えてくださいます。喜びを与えるために喜びの源につながってなければいけません。イエス様は喜びの泉です。渇かない水をいつも受け取って下さい。

(要約者:澤口 明子)

(3月4日)